

進路だより

第三号 笠田高等学校進路指導部 二〇一八年七月十八日発行

就職活動いよいよスタート

七月一日から求人票の受付が始まりました。県内の求人全てと県外求人の一部を進路指導室前の廊下に掲示しています。個々のより詳しい情報については、進路指導室内にファイルしていますので見に来てください。

夏休みの過ごし方は

楽しみにしている夏休み、どう過ごすかが大切です。時間を自由に使えるからこそ、目標を定め有意義に過ごさないと、だらだらと何も得られないまま終わってしまいがちです。大切なことは、今までに整えてきた生活習慣を乱さないということです。休みだからと言って昼夜逆転の生活になってしまったり、新学期に体調不良で遅刻や欠席ということになりかねません。好きなだけ時間を使えるだけに、自己管理が大切なのです！高校生活は三年間しかありません。自分を成長させる夏にしましょう。

【一年生】

高校での学習についていけていますか。中学校で苦手だった科目はますます苦手になってきて、この先どうなるか不安に感じている人もいるでしょう。このまま何もせず新学期を迎えてしまってもっと理解が難しくなり、好転することはありません。この夏休みに克服に向け頑張るしかありません。今なら取り返す量は少なく済みます。そのためには、どう取り組むかまず計画を立てましょう。そして、一日も早く実践しましょう。

また、夏休みが明けると来年度が授業の科目選択があります。科目選択は、卒業後の進路を基準に選びます。進学なら、四年制大学か短期大学か専門学校かはもちろん、できればどの学部かまで、夏休み中に考えておくことが望ましいです。三年生になって「受験に必要な科目を選んでいない！」と後悔してほしくありません。そのためにもたっふりと時間のある夏休み中に、情報を集めたりオープンキャンパスに参加したりして「自分は何か好きか」、「何を知らりたいのか」、「どんな仕事に就きたいのか」などを真剣に考え、保護者の方と学費などについても相談しておきましょう。

【二年生】

ゆつくりと過ごせる夏休みはこれが最後です。来年は指定校推薦やAO入試の手続きに奔走しているはずですが、今年の夏にすることは二つ。進路目標は決まっていますか。まだ先でいいか：とか、受験勉強は夏休み明けから：では間に合いません。夏休みの宿題には「進路調べ」があります。自分の将来について、より現実的に考え、どのような準備が必要か調べましょう。家族や友人ともよく話し、客観的な意見にも耳を傾ければ、自分自身では気づかない一面がみえてくることもあります。二期には三年生で学ぶ科目の選択もあります。選り間違いは許されないので、そのためにも志望校と志望学科を夏休み中に決めることを目指しましょう。



もう一つは、希望進路を実現するための勉強を始めることです。苦手科目がある人は、ずつと逃げてきた嫌な勉強に取り組むラストチャンスです。英語や数学は、つまずいたところまで戻らなければできるようにはなりませんから、この長い休みにしかできません。学校には先生方もいますから、わからなければとことん質問できます。受験勉強を意識している人は、高校に入学してこれまでに学んだ内容をよく復習し、定着させましょう。入試には二年生で学んだ内容が多く出題されます。休み中しっかりと勉強して、二年生として必要な学力を身につけましょう。

【三年生】

《就職希望者》

求人票をよく見て、希望する条件に合う職場を探しましょう。応募前職場見学にはできるだけ参加してください。積極的に参加し、その職場の雰囲気や環境を自分の目で確かめることが大切です。

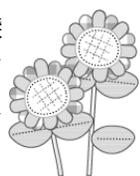
夏休みが明けると、いよいよ就職試験が始まります。試験の内容は事業所によって異なりますが、ほとんど面接と学科試験、作文、適性検査などです。面接のことを心配している人も多いと思いますが、企業の担当者は、「きちんと挨拶できない」と、印象がかなり悪くなる。と言っています。挨拶一つでもすぐにはできないようにはなりません。日頃から、元氣よく、相手の目を見て挨拶しましょう。先日の模擬面接では、緊張のためか声が小さく言いたいことも伝えられない人がかなりいました。これは何度も練習をして自信をつけるしかありません。とことん練習をしましょう。

《進学希望者》

受験勉強は順調に進んでいますか。「補習に出(さえず)れば、合格できる学力がつく」なんて考えを持っていませんか。もし、そう期待しているとしたら大間違いです。補習は、あくまでも受験勉強の「きつかけ作り」と「手助け」です。問題にどんなふうに取り組むのか、どんなペースでこなすのかを先生方が示してくれるだけです。補習期間が終了した後もそのペースで勉強を続けることので始めて受験勉強となるのです。

では、計画を立てることから始めましょう。ポイントは、夏休みを①七月下旬、②八月月上旬、③八月月中旬の三つの時期に分け、「いつまでに」、「何を」するかを考え、優先順位をつけて取り組むことです。この時期になると、「募集要項」も発表され始めています。ネット等で資料請求して、できるだけ早く正確な入試科目や配点を調べ、入試の時期、出題形式、範囲などもチェックしましょう。志望校を一つに絞らず、何校かの要項を取り寄せ、受験スケジュールを立てて行動することが大切です。学校の行事や検査などでバタバタしているうちに入学手続きの締め切りを忘れてしまったり取り返しのつかない事態になることもあります。

また、最近では私立大学でもセンター試験利用の入試方式も増えました。センター試験を受験しておくことで、何校もの受験をしなくて済むというメリットもあり、チャンスを増やすことができます。受験対策としての赤本(過去の入試問題)や先輩の受験報告書は、進路指導室で閲覧できますから活用しましょう。二〇一九年度センター試験の実施要項が発表されました。出願



校内へ切は九月二一日です。出願までに、理科と地歴・公民の受験パターンを決める必要があるため、志望校の入試科目をしっかりと調べておきましょう。

オープンキャンパス

夏休み中は、多くの大学・短大・専門学校で学校見学会が開催されます。資料だけではわからない、その学校の雰囲気や授業内容、どのような学生がいるか、自分に合いそうかなどをつかむことができるよい機会です。

三年生は受験の下調べだと考え、必ず行っておきましょう。過去問の配布や入試対策講座が行われることもあります。また、志望理由書や面接での説得力も増します。

一・二年生は志望校の選択のため、ぜひ参加しましょう。時間がある今のうちに複数校のオープンキャンパスに参加し、卒業後の就職サポート体制、奨学金や資格取得などについても比較しましょう。三年生になってからは落ち着いて考えられませんが、「オープンキャンパス」の詳細は、先日配付したカードでのインターネット申込みや、総合学習の冊子や進路指導室前に置いている資料を活用してください。

模擬試験

自分の現状をよく知るためにも、一・二年生のうちから積極的に模擬試験を受けましょう。希望受験の模試は全国での自分の位置や志望校について可否の可能性がわかるので、四年制大学志望者は必ず受けるようにしましょう。結果が返ってきたら、点数や偏差値だけでなく個人成績表等全てに目を通しましょう。解説書はとて丁寧な受験参考書です。これまでに受けた模試をまとめて復習し、出来なかつた問題は必ず解けるようにしておきましょう。これは、効率的で効果バツグンの受験勉強です。是非試してください。

三年生の今後の予定

七月二三日(月)	小論文講座(進学希望者)
	就職模試(就職希望者)
	就職希望者第一回事前指導
	看護医療系対策講座
八月九日(木)	就職申込締切(一〇時)
一六日(木)	就職希望者第二回事前指導
一七日(金)	就職二次申込締切(一〇時)
二七日(月)	指定校第二回公示予定
二八日(火)	指定校・学校枠推薦入試生徒説明会
九月三日(月)	指定校推薦申込締切(二〇時)
五日(水)	就職書類企業へ発送
七日(金)	学校枠推薦申込締切(一〇時)
	センター試験生徒説明会
一六日(日)	就職試験開始

夏休み中の学習室の利用について、基本的には月曜～金曜の八時三〇分～四時です。

(但し、八月二一日～一六日はお休みです)

